PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-138745

(43)Date of publication of application: 10.06.1988

(51)Int.CI.

H01L 21/66 G01R 31/26

(21)Application number: 61-284184

(71)Applicant: TOKYO ELECTRON LTD

(22)Date of filing:

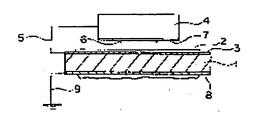
01.12.1986

(72)Inventor: KAMIYA MASAHITO

(54) STRUCTURE OF BASE PLATE FOR PROBER

(57)Abstract:

PURPOSE: To hold insulation resistance, to shield static electricity positively and to measure a substance to be measured with high precision by forming a base by quartz glass or an insulating material such as polytetrafluoroethylene, shaping a conductor layer onto the base and covering the lower surface of the base with a shielding member. CONSTITUTION: A base plate for a prober has a base 1, on which a substance to be measured consisting of quartz glass or an insulating material such as polytetrafluoroethylene is placed, a conductor layer shaped on a measured- substance base surface 3 on the base 1 and a shielding section mounted on another surface of the base 1. Consequently, since the lower surface of the base 1 is covered with a shielding member 8, currents do not leak from the base 1, and noises are reduced extremely. Insulation resistance is held with out being affected by the static electricity of a motor,



etc., for a driving system in a prober box body, and static electricity is shielded positively, thus measuring a wafer, etc., with high accuracy by fine currents.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

STRUCTURE OF BASE PLATE FOR PROBER

Patent number:

JP63138745

Publication date:

1988-06-10

Inventor:

KAMIYA MASAHITO

Applicant:

TOKYO ELECTRON LTD

Classification:

- international:

H01L21/66; G01R31/26

- european:

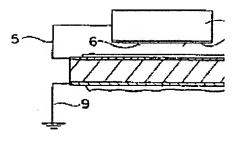
Application number: JP19860284184 19861201

Priority number(s):

Abstract of **JP63138745**

PURPOSE:To hold insulation resistance, to shield static electricity positively and to measure a substance to be measured with high precision by forming a base by quartz glass or an insulating material such as polytetrafluoroethylene, shaping a conductor layer onto the base and covering the lower surface of the base with a shielding member.

CONSTITUTION:A base plate for a prober has a base 1, on which a substance to be measured consisting of quartz glass or an insulating material such as polytetrafluoroethylene is placed, a conductor layer shaped on a measured-substance base surface 3 on the base 1 and a shielding section mounted on another surface of the base 1. Consequently, since the lower surface of the base 1 is covered with a shielding member 8, currents do not leak from the base 1, and noises are reduced extremely. Insulation resistance is held with out being affected by the static electricity of a motor, etc., for a driving system in a prober box body, and static electricity is shielded positively, thus measuring a wafer, etc., with high accuracy by fine currents.



即日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭63-138745

⑤Int Cl.⁴

證別記号

庁内整理番号

匈公開 昭和63年(1988)6月10日

H 01 L 21/66 G 01 R 31/26 7168-5F J-7359-2G

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

49発明の名称

プローバ用載置台の構造

雅

②特 願 昭61-284184

②出 願 昭61(1986)12月1日

⑫発 明 者 紙 谷

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号 東京エレクトロン株 式会社内

①出 願 人 東京エレクトロン株式

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

会社

②代 理 人 弁理士 小林 哲男

明細書

1. 発明の名称

プローバ用載置台の構造

2. 特許請求の範囲

石英ガラス又はポリテトラフルオロエチレン等の絶縁材からなる被測定物を報置する基台と、この基台の被測定物報置面上に設けられた導電体層と、上記基台の他方面上に設けられたシールド部とを具備してなることを特徴とするプローバ用報置台の構造。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、ウエハやプリント基板等の被測定物を測定するためのプローバ用の報置台に関し、特に、微小電流で動作する半導体のウエハを測定するウェハプローバ用報置台の特殊構造に関するものである。

(従来技術とその問題点)

最近、半導体集積回路は高集積化が著しく、1

Mビットや2Mビットのものが開発されている。 このような徴細化により、流れる電流も著しく小 さな徴小電流となる。

従って、この種の半導体ウエハを測定する場合、 微小電流で測定するため、ノイズを極力少なくし、 かつ、絶縁抵抗を大きくする必要がある。

ところで、従来のプローバ用の報覧台は、アルミニュウム製の基台上面を真空金蒸着したものである。この報覧台を用いて上記集積化ICを測定した結果、リークが多く測定困難であることが判った。

そこで、種々検討した結果、基台から電流がリークしたり、プローバ医体内の駆動系のモータ等の静電気に影響されて横小電流による被測定物の 脚定には、全く適さないものであることが判った。

高精度の測定を行えるプローバ用の載置台を提供 せんとするものである。

(問題点を解決するための手段)

上記の目的を達成するため、本発明は、石英ガラス又はポリテトラフルオロエチレン等の絶縁材からなる被測定物を裁置する基台と、この基台の被測定物報置面上に設けられた導電体層と、上記基台の他方面上に設けられたシールド部とを具備してなる構成を採用した。

(作用)

本発明によると、絶縁材で形成した基台と、絶縁材で形成した基台と、例えていた。カースをある。カースをおけるテストのでは、カーズカードのプローグ針を破したを表した。カーズカードのでは、カースを破した。カースを表した。カースを表した。カースを表している。まとなるをましている。カースを表している。ま

ストヘッド4には、プローブ針6を有するプローブカード7が設けられている。しかも、この報置面3は被測定物をバキューム等の手段でフラット 状態で高精度に固着するための機能を有している。

更に、上記基台 1 の下面には、金属性のシールド部材 8 を積層しており、このシールド部材 8 はアース回路 9 によりアースされ、静電気をシールドするようにしている。

次に上記実施例の作用を説明する.

 の下面をシールド部材で被覆するようにしたので、 装台から電流がリークしたりすることなく、しか も、ノイズが博力少なくなり、又、プローバ国体 内の駆動系のモータ等の静電気に影響されること もなく、絶縁抵抗が保持されて静電気を確実にシ ールドするようにしたので、微小電流によるウエ ハ等の調定が高精度に行われることになる。

(実施例)

次に、本発明におけるウェハ 穀屋台の構造の一 実施例を図面を参照して説明する。

基台1は絶縁材例えば石英ガラス又はポリテトラフルオロエチレン等で構成する。この基台1は、ウエハ、プリント基板等の被測定物2を報置して別定するためのものであり、この基台1の下部には図示しないXY2駆動系が配置される。上記基台1の一面上には、導電体層例えば金蒸着等の手段で導進性素材を被覆して報置面3を設ける。この報置面3は、ウエハ等の被測定物2の下面を電気的に測定する場合、この報置面3とテストの路5を介して接続されており、テ

絶縁材で形成したので、絶縁抵抗を保持し、かつ、この基台1の下面をシールド部材8で被覆するようにしたので、基台1から電流がリークするおそれもなく、ノイズも極力少なくなり、又、プローバ医体内の駆動系のモータ等の静電気に影響されることもなく、静電気を確実にシールドし、微小電流(10fA)によって動作するウェハ等の測定物を確実に測定することができる。

(発明の効果)

4. 図面の簡単な説明

図面は、本発明の一実施例を示したプローバに おける戦闘台の縦断面図である。

1・・・基台、2・・・ウエハ等の被測定物

3・・・戦値面、8・・・シールド部材。

特許出願人 東京エレクトロン株式会社

代 理 人 弁理士 小 林 智



